



スクラム

特別号

scrum



10月より地域包括ケア病棟を開設します！

金沢市立病院では10月1日より地域包括ケア病棟50床を開設します。

わが国の65歳以上人口の総人口に対する割合は既に2割5分を超えています。平成22年には約4割に達する見込みです。4月に行われた診療報酬改定では、超少子高齢社会の医療ニーズに合わせた医療提供体制の再構築を目指して、医療機関の機能分化・強化と連携が重点課題とされました。地域包括ケア病棟は、高度急性期病床と地域を繋ぐ“地域に密着した病床”地域包括ケアシステムを形作るリングの一つとして設けられました。



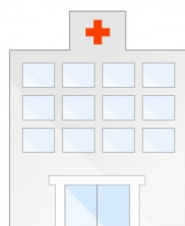
地域包括ケア病棟医長
消化器内科長
辻 宏和

軽症だが緊急性のある患者の受け入れ、高度急性期・急性期から在宅復帰困難な患者の受け入れ、在宅・生活復帰支援を目的とした病床とされています。

当院でも、登録医の先生方との連携を密にし、要望をいただいた時にいつでも入院受け入れができる体制をとります。また、この病棟の看護師配置は13対1が求められていますが、当院では更に手厚く10対1看護体制にて対応します。在宅復帰実現のための退院支援についても今まで以上の充実を図っていきます。

さらに地域包括ケア病棟の有用性を高めるため、市立病院の特色としてレスパイト入院を始めます。レスパイト (respite) は「一時的休止や息抜き」を意味しますが、介護によって在宅医療を行っていた患者さんが、介護する者がいなくなり在宅医療を行えなくなった場合に、一時入院という形でバックアップします。在宅介護をされているご家族や介護者の肉体的・精神的負担が限界を超え、介護不能となることを予防するための入院と位置づけています。入院期間は2週間程度までを目安としますが、介護者の突然の病気・ケガ・冠婚葬祭等の場合を含め、介護負担の軽減に役立ちたいと考えています。地域連携室にお申し込みください。

これからも地域医療のなかでコミュニティー医療の実践を目指していきます。是非これまでの急性期病床だけでなく地域包括ケア病棟もご利用ください。



金沢市立病院 地域包括ケア病棟のご案内

「**地域包括ケア病棟**」とは、入院治療後病状が安定した患者さんに対して、退院支援を行い、効果的かつ密度の高い医療を行うために国から許可を受けた「**在宅復帰支援の為の病棟**」です。

通常、一般病床で症状が安定しますと早期に退院をしていただくことになっています。しかし、在宅等での療養に不安がある方や、もう少しの入院で在宅復帰できる患者さんの為に、当院では「**地域包括ケア病棟**」をご用意し、安心して退院していただけるよう支援していきます。

「在宅復帰支援計画」に基づいて主治医・看護師・リハビリスタッフ・退院支援担当者などが協力して効率的に患者さんのリハビリや在宅支援（相談・準備等）を行っていきます。

☆病棟は6階西病棟で**病床数は50床**となります。

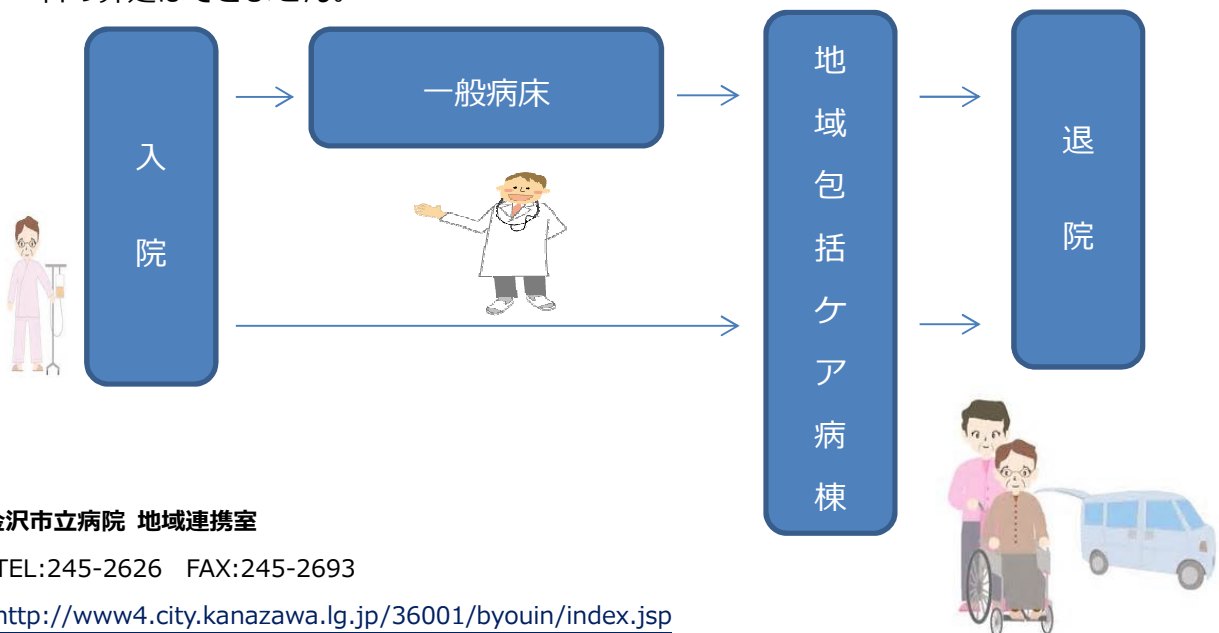
☆入院日数は**保険診療上60日が限度**となります。（転棟の場合も地域包括ケア病棟へ転棟してから60日が限度となります。）

☆以下のような場合に入院していただくこととなります。

- ① 主治医が判断し患者さん、ご家族の方に提案させていただきます。ご了解後、地域包括ケア病棟へ入院（または転棟し継続入院）となります。
- ② 登録医からの依頼に基づいた入院。

☆入院費については、計算方法が通常とは異なり「地域包括ケア病棟入院料1」を算定いたします。定額制となります。

☆なお、診療報酬上、開放病床との併設はできないことより、当該病棟での開放型病院共同指導料の算定はできません。



金沢市立病院 地域連携室

TEL:245-2626 FAX:245-2693

<http://www4.city.kanazawa.lg.jp/36001/byouin/index.jsp>

ご不明な点がございましたら地域連携室までお気軽にお問い合わせください。